

1 なぜ集落法人なのか

広島県の農業・農村は、過疎化の進行に加え、昭和一桁代のリタイアが本格化する中で、基幹的農業従事者の減少、農業生産活動の低迷、耕作放棄地の増加など、深刻な状況に直面しています。

このような現状を踏まえ、将来に向かって展望を拓くためには、これまでの小規模零細で稲作主体の個別経営体が大半を占める生産構造を大きく転換し、思い切った構造の改革が求められます。

そこで、集落の農地を面的に集積し、ヒト（人材）・モノ（資産）・カネ（資本）を集めて効率的で持続可能な経営の確立が可能となる集落法人の設立を加速させ、地域の核となる経営力の高い担い手として、育成をしていく必要があります。



図 I-1 広島県の農家の姿

広島県の農業情勢については、広島県ホームページ
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/79/nourinnsuisanngyounougoki.html>
 を参考にしてください。

広島県の農林水産業の動き

検索